

INFORMATION 2018

ITの可能性を、未来の可能性に。——

ベスト・サービスカンパニーを目指します

■ 経営理念

ビジョン

社会、お客様、株主、社員と
感動を共有し、信頼されるグローバルな
ベスト・サービスカンパニーを目指します。

行動規範

- ・自らマインド
自ら考え、行動します。
- ・JBグループ行動基準
社員一人ひとりが法と社会のルールを守り、
良識を持って行動します。

CSR 基本理念

JBグループは
ベスト・サービスカンパニーとして、
よき企業市民を目指し、社会および
環境との調和を図ります。

JB group

ブランドシンボルの意義
“知性”と“情熱”

赤=社員の強い情熱
グレー=IT企業として必要な知性
JとBの一体化=お客様や社会、パートナーとの「繋がり」を想起
J上部の丸いポイント=「個人の人格の尊重」や「自立した姿勢」を表現
全体=「信頼感」あるイメージで構成

いま、あらゆるもののデジタル化が急速に進んでいます。クラウド、IoT、AI、セキュリティ等のデジタル技術が相互につながり、ITが企業活動や私たちの生活、社会、経済を大きく変えてきています。

JBグループは、1964年の創立以来2万社を超えるお客様にITの利活用を提案してまいりました。これらの経験と実績を活かし、あらゆるもののデジタル化への対応をさらに推進し、未来に向けて、お客様の成長を支援してまいります。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



JBCCホールディングス
代表取締役社長

山田 隆司

これまでも、これからも。お客様や社会と共に…

JBグループは以下の事業分野でビジネスを展開しています。

お客様の経営や業務の課題を解決するためのソリューションやサービスにより、最適なITの利活用を推進しています。



情報ソリューション

Information Solutions

IT活用に関するトータルサービス（コンサルティング、アプリケーション開発、システム開発、運用、保守、監視、アウトソーシング等）の提供を行っています。

JBCC株式会社 (JBCC)

JBサービス株式会社 (JBS)

株式会社シーアイエス (CIS)

株式会社ソルネット (SOLNET)

ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社 (GBS)

株式会社アイ・ラーニング (i-Learning)

JBパートナーソリューション株式会社 (JBPS)

佳報 (上海) 信息技术有限公司 (JBCN)

JBCC (Thailand) Co., Ltd. (JBTH)



製品開発製造

Product Development and Manufacturing

JBグループならではのソフトウェア、プリンティング、クラウドサービス等、各種ソリューションの開発・提供の他、お客様の要望に応じた最適なハードウェアの提供を行っています。

JBアドバンスト・テクノロジー株式会社 (JBAT)



シェアード・サービス

Shared Service

人事・総務、経理・財務、情報システム、業務サービス（支援・管理）等の各種スタッフ業務を集約し、グループ内業務の重複を避け、効率のよい運営を行っています。

C&Cビジネスサービス株式会社 (C&CBS)

■ 沿革

第1の創業

1964

自社ブランドの確立

- 1964年 4月 日本ビジネスコンピューター株式会社設立
- 1964年 4月 超小型コンピューターの先駆けとなるTOSBAC-1100Dを開発、販売
- 1977年10月 日本で初めて漢字処理ができる「JBCシステム-1 漢字」を開発、販売
- 1982年 4月 CI導入、新ブランド名を「JBCC」とする
- 1982年 5月 意思決定支援システム「JUSMATEシリーズ」を開発、販売
- 1983年 3月 日本アイ・ビー・エム販売株式会社と販売提携し、「IBMマルチステーション5550」を販売
- 1983年 3月 日本初のネットワーク分散処理システム「C-200」を開発、販売



JBCシステム-1 漢字

第2の創業

1983

日本IBMのパートナーとしてビジネス基盤を強化

- 1983年 8月 日本アイ・ビー・エム株式会社と資本・業務提携
- 1999年 7月 運用センター (SMAC) を開設
- 1999年10月 株式を東京証券取引所市場第二部へ上場
- 2000年 9月 株式を東京証券取引所市場第一部へ上場
- 2004年 1月 ISO140001取得 (横浜事業所)
- 2004年11月 JBCCヘルスケア・コンソーシアム (JBHC) を設立



運用センター SMAC
(Solution Management and Access Center)

第3の創業

2006

さらなる成長に向けてホールディングス体制に移行

- 2006年 4月 純粋持株会社としてJBCCホールディングス株式会社スタート
- 2008年11月 中国大連市に拠点を設立しアジア地域へのビジネスを開始
- 2009年10月 クラウド・インテグレーションセンター (検証センター) を開設
- 2014年 4月 創立50周年
- 2015年10月 お客様に最適なクラウドサービスを提供するために、コンソーシアム「俺のクラウド倶楽部」を設立
- 2016年 6月 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行
- 2017年11月 「JBグループの歩み」コーナーを開設



「JBグループの歩み」コーナー
「JBCシステム-1 漢字」の実機の他、創業からのJBグループの歩みを確認できる動画・資料等を展示

未来へつながる新たな価値を、最適なソリューションでご提案します

今やITは、企業経営への役立ちのみならず、生活のあらゆる場面に利用され、社会になくてはならないものになっています。

あらゆる“モノ”がインターネットにつながるIoT (Internet of Things)、AI (人工知能)、ロボット等、生活やビジネスの様々な場面でデジタル化が進んでいます。

JBグループは、クラウドをベースにAIやIoT等、新しい技術を取り入れたIT活用を提案するとともに、7つの分野で取り組み、お客様と共に、未来につながる仕組みづくりを進めています。



Security セキュリティ

安全なシステム運用を支援

企業の情報資産を狙い、高度化するサイバー攻撃に対し、「OPTi Secure」の総称のもと、セキュリティの運用サービスを提供しています。お客様それぞれの要望に応じて最適なサービスを組み合わせ、安全なシステム運営と企業の事業継続を支援します。



※ NIST (国立標準技術研究所) のセキュリティ標準をベースにした5ステップに基づいたサービスを提供します。



Cloud クラウド

企業のデジタル化を推進

「俺のクラウド」の総称のもと、ビジネスのベースとなるクラウド環境を運用、提供しています。様々なクラウドサービスと、IoTや新しい技術を活用して、ビジネスのデジタル化を推進し、企業の成長を支援します。



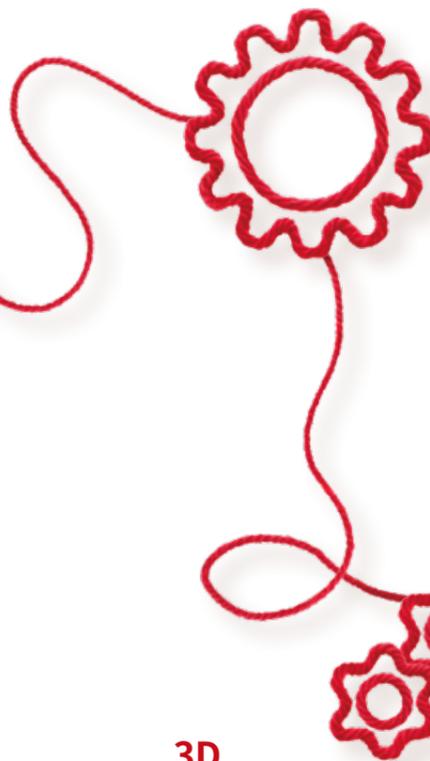
地域包括ケアシステム実現に向けて

2004年に設立したJBCCヘルスケア・コンソーシアム (JBHC) の会員企業と連携し、電子カルテ/医療会計を中心に、「地域包括ケアシステム」の実現に向けたソリューションの展開を進めています。予防・医療・介護の各分野をITを活用してつなぎ、医療サービスを安心して受けられる社会の実現を目指しています。

JBHC (JBCCヘルスケア・コンソーシアム)



JBCCと医療・ヘルスケア分野に関連した優良企業が設立した企業連合。単独では解決できない医療機関全般の課題に対し、総合的に対応しています。 <http://www.jbhc.jp/>



独自のサービスを創出

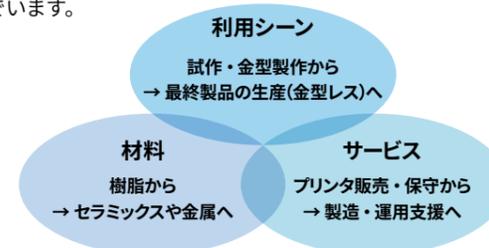
独自のサービスを創出

永年培ってきたハードウェアとソフトウェアの開発技術を活かし、業務アプリケーションや独自のソリューションを開発・提供しています。クラウド、IoT、ロボット等の新しい技術への取り組みも推進し、お客様に役立つ、新しい価値の創出を目指します。

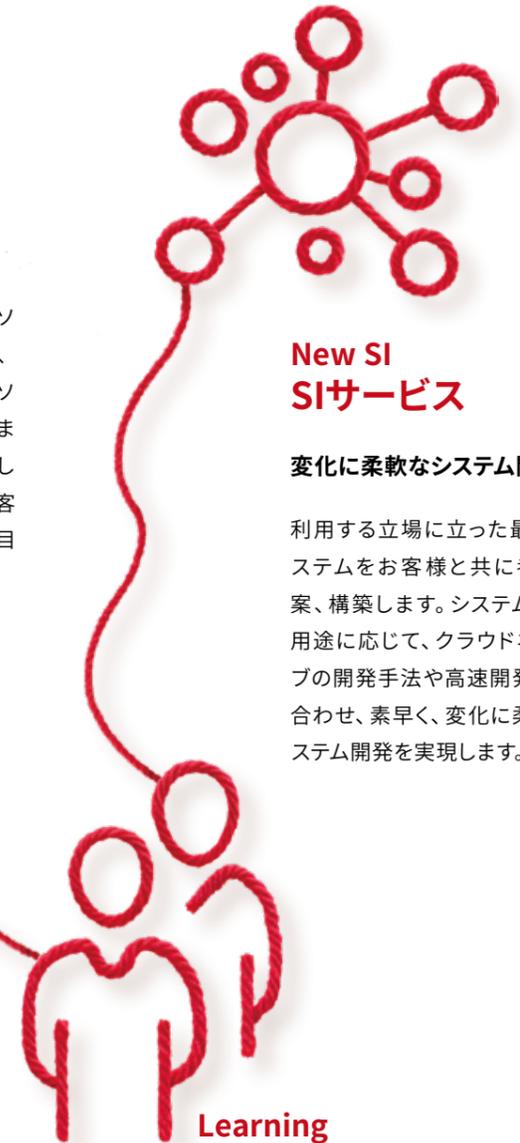
3D

3Dの利活用を総合的に支援

3Dプリンターはその技術・精度の向上、利用できる造形材料の多様化により、研究・開発機関での検証や試作を目的とした利用から、最終製品を生み出す生産機械へと、活用分野が広がっています。3Dプリンターの販売・保守だけでなく、新たなソリューションの提供や技術者の教育・育成にも取り組んでいます。



ワンストップでITと連動した3D活用を提案・支援します。



New SI SIサービス

変化に柔軟なシステム開発

利用する立場に立った最適なシステムをお客様と共に考え、提案、構築します。システムの利用用途に応じて、クラウドネイティブの開発手法や高速開発を組み合わせ、素早く、変化に柔軟なシステム開発を実現します。

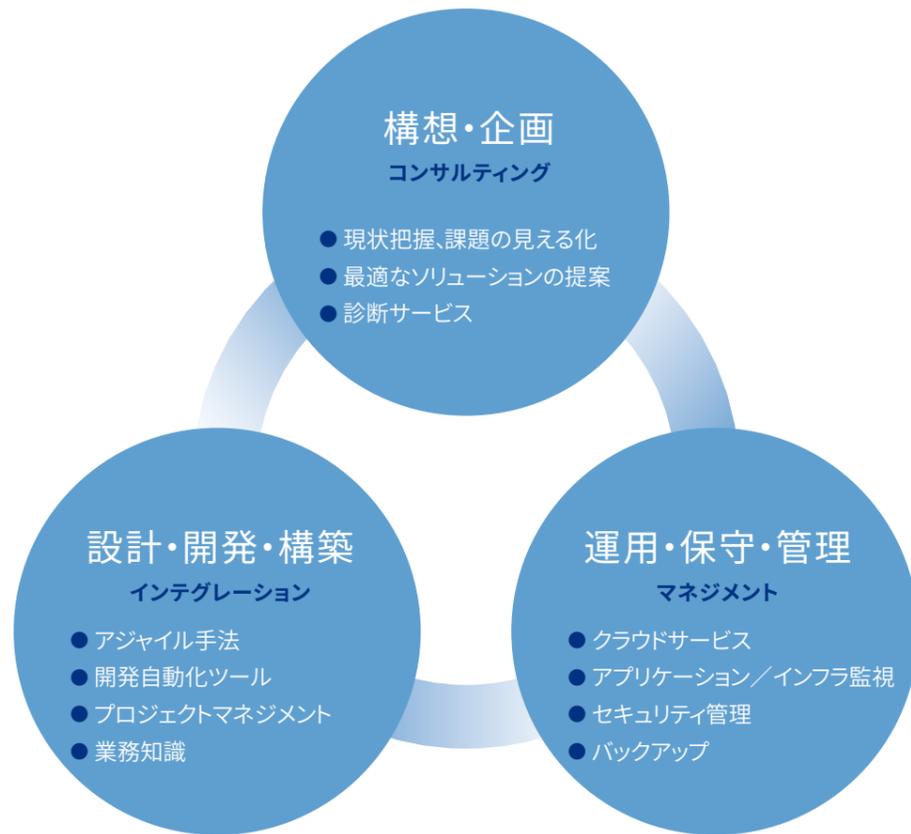
Learning 人財育成

未来を担う人財の育成

ビジネスのデジタル化が進む中、取り巻く環境の変化、技術の進化に対応できる人財が求められています。企業の新人/階層研修のみならず、次世代への人財育成に取り組んでいます。

企業の成長をワンストップで支援します

2万社以上の様々な企業のIT活用を支援してきた経験と実績をベースに、コンサルティングから設計・構築、運用・保守まで、お客様のライフサイクルを見据えたサポート&サービスを提供しています。



構想・企画

経営/業務/ITの課題を見える化し、IT活用が効果を生む箇所の抽出、最適なソリューションの提案へと具体化しています。

設計・開発

業務知識、プログラム技術、マネジメント力を結集し、お客様のニーズに即したシステムを構築しています。アジャイル開発手法とツールの採用により高速開発を可能にし、高品質で高いシステムの構築を実現しています。

また、クラウドネイティブな（クラウドでの運用を前提にした）開発も推進しており、新しい技術を活用し、お客様に最適なシステムの構築に取り組んでいます。

運用

企業のクラウド活用が進む中、お客様毎に最適なクラウドサービスの提供の他、クラウド運用監視センターCLIC (Cloud Innovation Center) では、クラウド利用手続きの代行から、稼働監視、バックアップ、設定変更など、クラウドの運用をトータルで支援し、安心・安全なクラウド環境を提供しています。

運用センターSMAC (Solution Management and Access Center) では、高度化するサイバー攻撃に対し、セキュリティに特化したSOC (Security Operation Center) 機能を強化し、クラウド環境でのセキュリティ対策サービスの拡充を進めています。

■ お客様の要望に応じた最適なシステム開発

システムの上流工程から順番に作業を進める従来型の開発モデルから、技術の進化やお客様の要求に柔軟に対応できるアジャイル開発への変革を実践しています。また、利活用が進むクラウドサービスやAI、IoTを活用した新しいシステム構築にも取り組みを進め、それぞれのシステムに適した技術で、最適なシステムの提案・構築を実現しています。



高速開発 ~ツール連携による開発・保守品質の向上

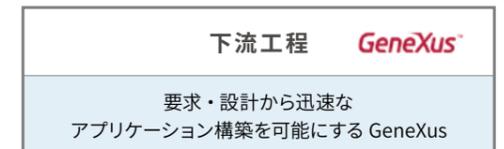
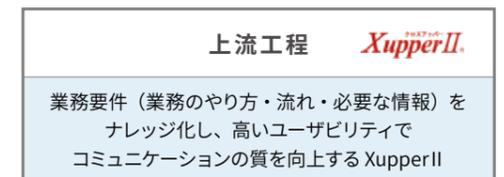
JBグループでは、アジャイル開発を推進しています。様々な業種業態のお客様への導入実績をベースに、上流工程の設計支援ツール「XupperII」や高速開発ツールを連携・活用した独自のアジャイル開発手法を取り入れ、お客様の要求に柔軟に対応したシステム構築を実現します。

● 上流工程の設計支援ツール「XupperII」

システム開発の上流工程における設計情報を一元管理。業務を可視化し、設計情報を開発工程へとつなげます。
Xupper公式サイト <http://www.xupper.com/>

● 高速開発ツール「GeneXus」

設計情報からプログラムのソースコードを自動生成するツール。物理バグを排除し、短期間でのアプリケーション開発を実現します。



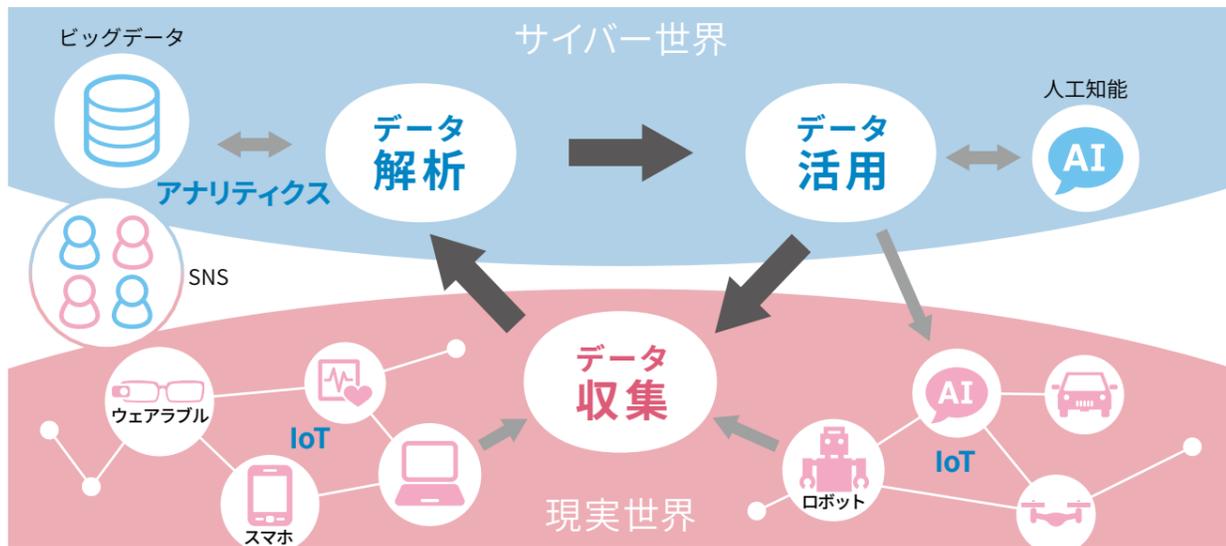
■ レガシーシステムからWeb・オープン化への移行を支援

ビジネスや環境の変化に伴い、汎用機やオフコン等のレガシーシステムからWeb・オープン化への移行をアジャイル開発で支援しています。ツールの連携・活用で、システムや業務を可視化し、将来の拡張にも柔軟に対応可能なシステムを短期間で提供します。

クラウド&セキュリティで最適なIT活用を 支援します

■ 情報と人をつなぎ、お客様の成長を支援

“所有から利用へ”。自社でサーバーやシステムを所有せず、手軽に利用でき、機能拡張や利用者拡大にも柔軟に対応できるクラウドの利活用が進んでいます。クラウドをベースにAIやIoTを活用し、膨大なデータを解析して価値ある情報としてシステムで活用することで“モノと人”、“情報と人”をつなぎ、ビジネスの可能性を広げ、お客様の成長を支援します。



Ecoシステムでクラウドサービスを提供 — 俺のクラウド

業種・業務に特化したソリューションやクラウドセキュリティに知見を持つパートナー企業と連携し、クラウド基盤の構築・運用からソリューションまで、必要なものを最適な形で組み合わせEcoシステム(*)で提供しています。

*Ecoシステム ……企業がパートナーシップを組み、互いの技術を活かして連携し、価値あるサービスを提供・互いに発展していく仕組み。

● 企業の競争力を高める「Cloudシリーズ」

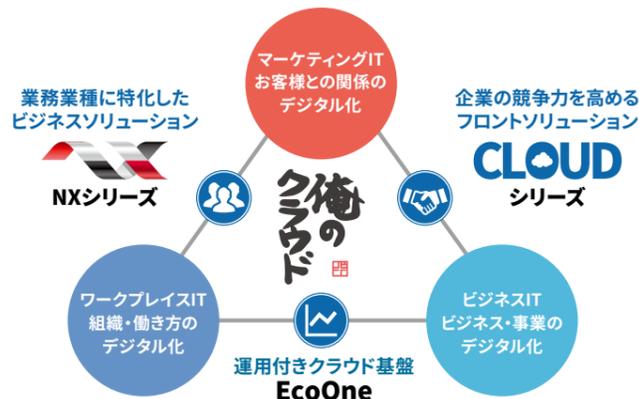
データ解析やチャットボットサービスなど、企業の成長を支援するソリューションを提供します。

● 業務業種に特化した「NXシリーズ」

販売管理や人事給与、会計など、基幹システムのクラウド化を推進します。

● 運用付きクラウド基盤「EcoOne」

手続き代行から、設計、構築、運用までトータルにサポート。セキュリティにも対応した安心・安全なクラウド環境を提供します。



■ マルチAIと連携したクラウド活用を推進

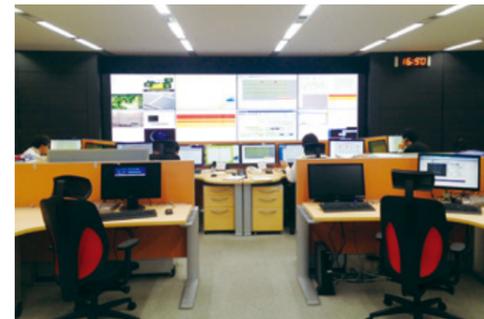
俺のクラウドで提供する「CloudAIチャットボット」サービスと音声認識技術を組み合わせ、自然な話し言葉でのシステム操作や、IBM Watson日本語版をはじめとした様々なAIと連携し、AIによる問い合わせ対応を実現する等、最新技術を活用したお客様システムを構築しています。

■ 24時間365日のシステム運用を支援

クラウドやモバイルの活用が進み、企業のシステム運用や働き方の利便性が高まる一方、セキュリティの領域は広がり、求められる対策も多様化しています。運用センターSMAC(Solution Management and Access Center)を中心に、お客様の要望に合った製品やサービスを組み合わせ、安全・安心なシステム運用を支援します。

運用センター SMAC (Solution Management and Access Center)

24時間365日体制でお客様のIT環境を支援しています。東京、大阪のSMACにセキュリティに特化したSOC(Security Operation Center)機能を追加し、標的型攻撃への対応や、マルウェアの分析等、セキュリティ技術の強化に取り組むとともに、クラウド環境を利用した各種セキュリティ対策ソリューションを拡充しています。



運用センターSMACは、2つの国際規約の認証を取得し、ITIL準拠の高品質なサービス提供と情報セキュリティレベルの維持・向上に取り組んでいます。このような高品質なIT運用と情報セキュリティを兼ね備えた体制を東京・名古屋2箇所のSMACで二重化し、災害時等でもお客様の事業継続を支援します。

[認証取得]

SMAC 東京/名古屋

IT サービスマネジメント

情報セキュリティマネジメント



JQA-IT0030

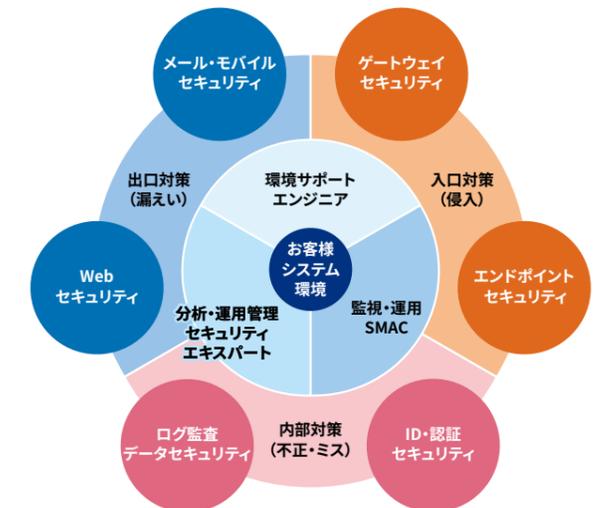


JQA-IM0148

統合セキュリティ運用サービス「OPTi Secure」

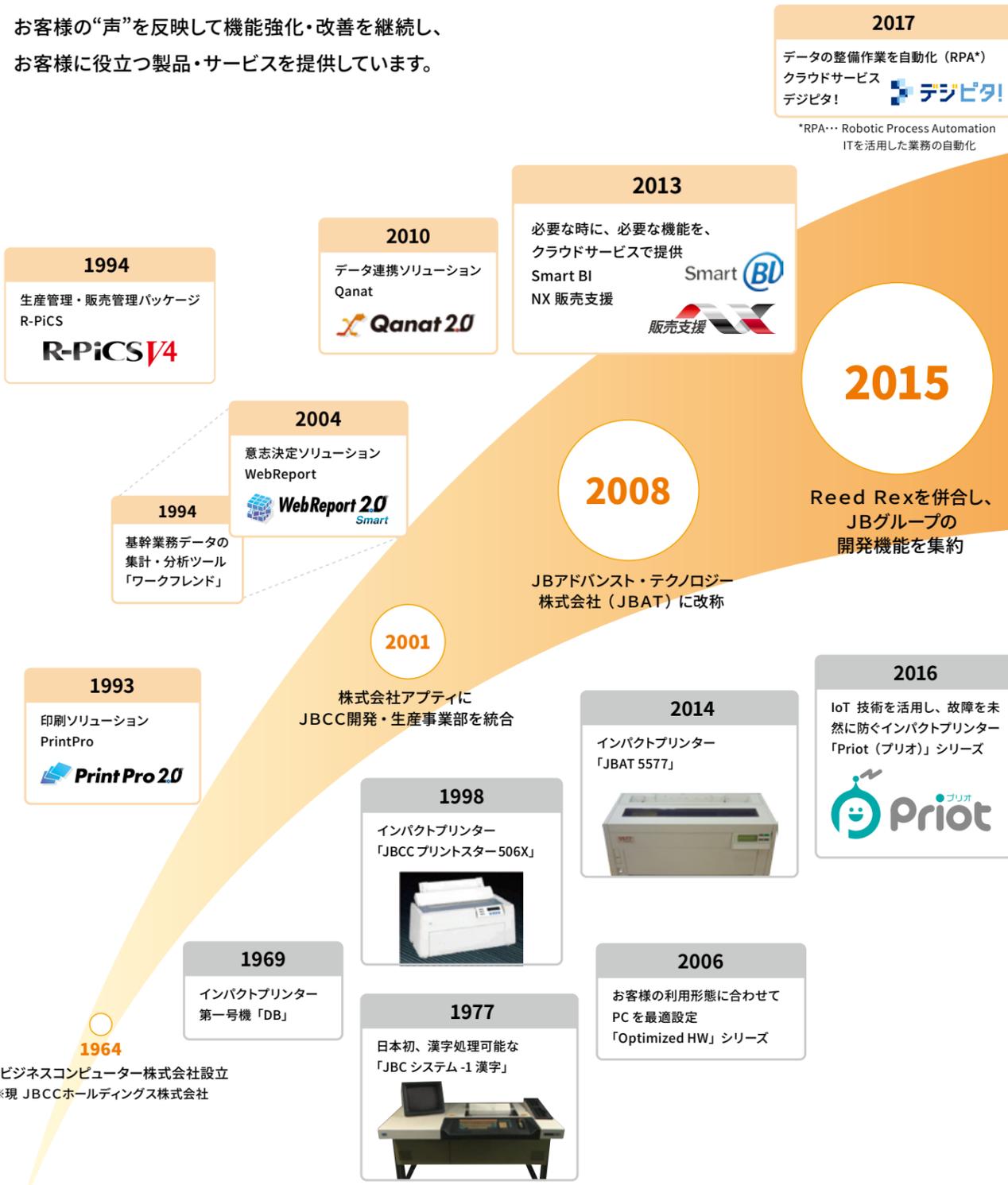
JBグループのセキュリティ統合ブランド「OPTi Secure」では、PC/サーバー/ネットワーク/メールなど、システム全体を全方位でカバーするセキュリティ運用サービスを取り揃え、提供しています。

外部からの攻撃・侵入を防ぐ「入口対策」、操作や情報を管理して漏えいを防ぐ「内部・出口対策」など、運用センターSMACを中心に、マルウェアの分析等、セキュリティに対する高度な技術を持つエキスパートと、お客様環境を熟知したエンジニアが連携し、お客様個々に最適なサービスを組み合わせ提案・提供しています。



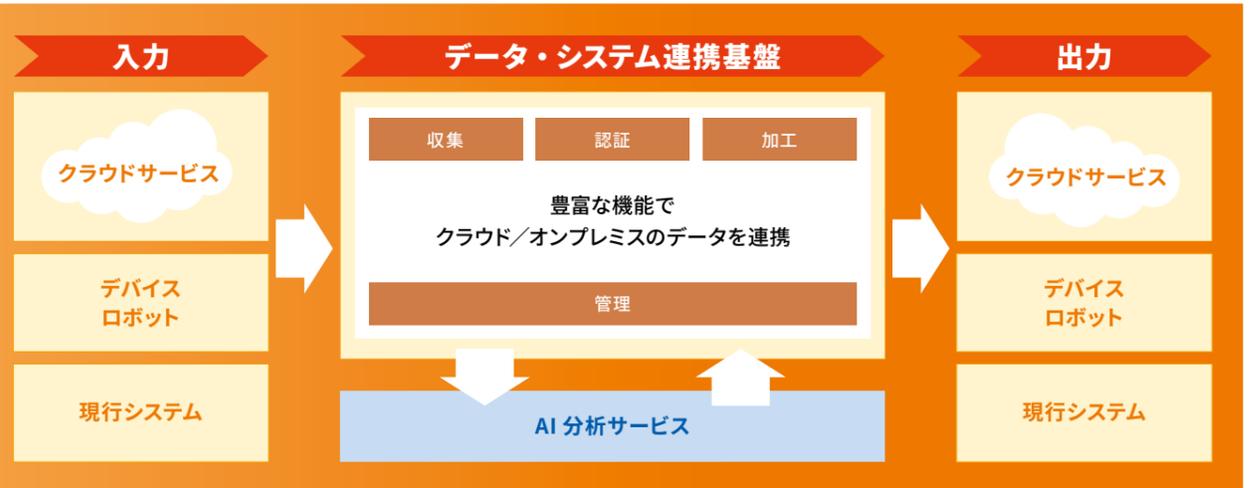
お客様の声をもとに、JBグループならではのソリューションを開発します

プリンター等のハードウェアと、意思決定・情報連携・プリンティング等を支援するソリューション、生産管理販売管理パッケージを開発、提供しています。
お客様の“声”を反映して機能強化・改善を継続し、お客様に役立つ製品・サービスを提供しています。



最新技術を活用し、新しい価値を創造し続けます

ハードウェア/ソフトウェアの開発技術と最新のクラウド技術を結集し、クラウド/オンプレミスの様々なデータを融合して、利用したい形で活用できる「データ・システム連携基盤」を開発、提供しています。クラウドを中心に、優れた技術を持つパートナー企業と連携し、今までにない新しい価値を共に創り出し、お客様のビジネスの拡大と成長を支援します。



先進技術研究所の取り組み

先進技術研究所では、これまでの経験に、新たな技術を取り込み「気づき」を具現化することに取り組んでいます。近年は、クラウドをベースにIoT、AI (人工知能)、ロボット等も研究テーマとして取り組み、ビジネスへの活用の検討も進めています。また、外部の技術コミュニティ、コンソーシアム等に継続的に参加して最新技術への知見を深めると共に、グループ内でも情報交換の場やコミュニティを立ち上げ、技術情報の発信と共有を実践しています。単独では難しい技術検証も、チームでアイデアを出し合って取り組むことで、技術者間のコミュニケーションを活性化し、将来の技術リーダーとなる人材の育成と、グループ全体の技術力向上に努めています。



先進技術研究所の研究室内バージョン・ラボ (Innovation Lab)

●技術コミュニティ「PEGG」

OSS (オープンソースソフトウェア)をはじめ、新しいテクノロジーをビジネスに活用することを、技術者が自発的にコミュニティを作って活動しています。2017年度はグループ各社より約150名が参加しました。

●技術者情報連絡会

最新技術動向の共有と、技術者間のコミュニケーションを目的に開催しています。



※日本初の漢字処理可能なオフィス・コンピューターの開発や、漢字印刷において世界最速の印刷を可能としたシリアルインパクト・プリンターヘッドの開発などを行ってきました。

お客様、そして社会へ。様々な活動に取り組んでいます

信頼される企業を目指し、社会貢献・環境保全活動を継続して推進

CSR基本理念

JBグループはベスト・サービスカンパニーとして、よき企業市民を目指し、社会および環境との調和を図ります。

CSR実施方針

- (1) 法令・規制を遵守し、お客様との約束を守り、高水準の倫理を保つ。
- (2) 常に最新のITに挑戦し、自らマインドによる開発、自社活用、お客様への提案・提供により、日本のIT活用の促進に貢献する。
- (3) グローバルな視野を持つよき企業市民として、社会への貢献、環境保全活動を積極的に行う。

JBグループでは、「事業活動を通じた活動」、「企業市民としての活動」、「企業倫理・社会的責任遵守活動」の主に3つの分野で活動しています。

事業活動を通じた社会貢献活動

- 7つの成長事業への取り組み (WILD7)
- Eco システム・クラウドサービス
- 働き方改革ソリューションの提案
- 自社太陽光発電の運用 など

企業市民としての社会貢献活動

- 環境活動
ISO14001 活動、緑化活動 (国内・国外)
「COOL CHOICE」への参加
- 被災地支援
「鎮守の森のプロジェクト」への参加
- 障がい者支援
関東車椅子バスケットボール連盟
オフィシャルサポーター
- 地域活動 など

企業倫理・社会的責任遵守活動

- JBグループ内部統制方針
- JBグループ行動基準
- JBグループ環境方針
- 社会的責任
雇用拡大 (女性、障がい者、高齢者)
ポジティブ・アクション宣言
(企業における女性活躍推進の取り組み)
ポジティブ・オフ宣言
(ワーク・ライフ・バランス実現への取り組み)



JBサービスソーラーファーム
運用センターSMACを活用し、365日体制で遠隔監視



鎮守の森のプロジェクト
植樹活動

CSRレポート発行

2012年度より、毎年のJBグループCSR活動を1冊にまとめた、CSRレポートを発行しています。

詳細はホームページよりご確認ください。

<https://www.jbcchd.co.jp/csr/report/>



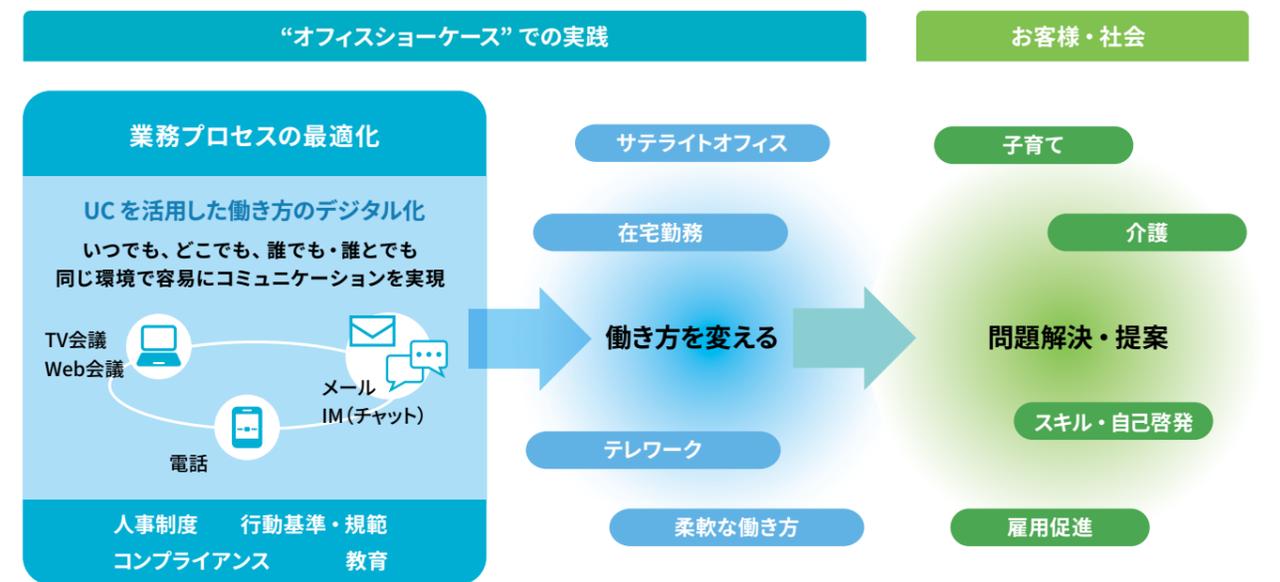
“オフィスショーケース”を通じて、お客様や社会に役立つIT活用を具体的に提案

お客様の経営、IT活用の課題を解決するため、各種ソリューションを組み合わせ、“ショーケース”としてJBグループで導入・展開し、お客様への具体的な提案のみならず、社会の問題解決を目指しています。

昨今の働き方の多様化を背景に、柔軟な働き方の実現を目指し、テレワークの導入など、ITを活用したワークスタイルの変

革を進め、2016年5月からグループ各社でユニファイドコミュニケーション (UC) (*)を導入しました。

時間や場所を選ばず、安全で効率的なコミュニケーションを実現すると共に、実際の導入・運用で経験したノウハウを活かし、働き方やビジネスを変革する新しいITの活用を、グループの総合力を活かしてトータルに提案しています。



*ユニファイドコミュニケーション… UC: 様々な通信や伝達手段を連携・統合して提供するシステムやサービスの総称

次代を担う人財を支援

JBCCホールディングスでは、“理系的発想力を問う文学賞”として、未来を刺激する圧倒的な想像力とアイデア、その先にある物語を競う、日経「星新一賞」のコンセプトに賛同し、2014年の賞設立から継続して協賛しています。第5回の応募 (2017年9月末締切) では、一般部門の他、学生部門/ジュニア部門でそれぞれ、30年後/100年後の未来を創造した若い発想力にあふれた作品を募りました。(日経「星新一賞」公式サイト: <http://hoshiaward.nikkei.co.jp/>)



また、ITに取り組む若者たちの育成を目的に設立されたNPO法人ITジュニア育成交流協会にも2017年4月から協賛しています。ITコンテストの支援を通じて、ITを活用したものづくりの楽しさを伝え、次代を担う人財を支援しています。



BCNは未来に向けてものづくりの夢を育む若者を応援します
BCN ITジュニア賞 BCN ITジュニア特別賞
BCN ITジュニアU-16賞

※BCN ITジュニア賞とは… NPO法人ITジュニア育成交流協会の推薦に基づき、様々なITコンテストで優秀な成績を収めた若者を表彰します。

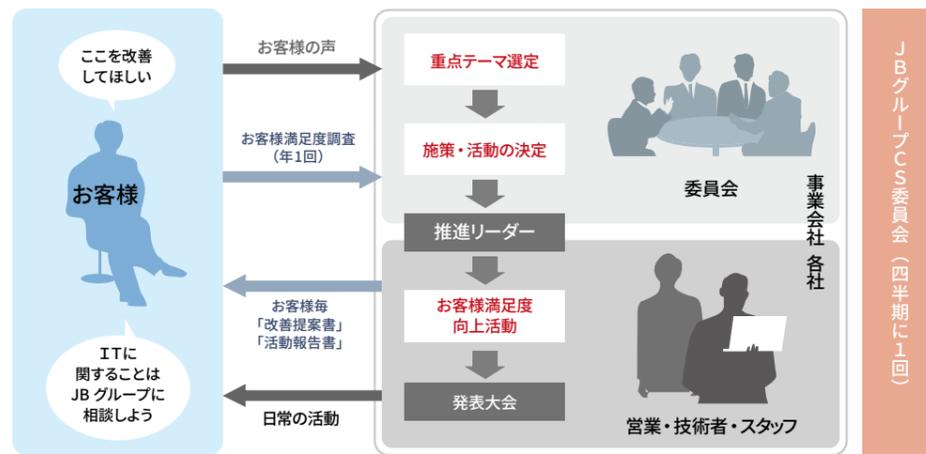
信頼される企業グループを目指して

JBグループは、お客様の経営課題を解決し、企業の成長を支援するIT活用をお手伝いしています。
お客様に信頼され、ITに関するあらゆることを任せてもらえるパートナーとして認めていただけるように努めています。

■ お客様の声を伺い、活動に展開

日常の活動でお客様が抱える課題や要望を理解すると共に、お客様からの評価やご意見を伺う「お客様満足度調査」を毎年実施しています。

お客様の声を日々の活動の質や、サービス品質の向上、業務改善などに反映し、お客様により一層ご満足いただけるよう、継続した改善活動を行っています。



全員参加の「CS活動」を実施

「お客様満足度調査」の結果や日頃のお客様の声をベースに、全職種のメンバーが連携して、業務に密着したCS活動を実施しています。
活動はPlan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)のサイクルで継続的に行い、活動内容をグループ内で共有・展開しています。
※ CS: Customer Satisfaction (お客様満足)

「CS活動」のベースとなるES

お客様満足を実現するためには、ESが不可欠と考え、「社員満足度調査」を毎年実施し、プロフェッショナルの育成や働きやすい職場環境の実現等を具体的に行っています。
※ ES: Employee Satisfaction (社員満足)

CS&ES 活動発表会を実施

お客様満足とそれを支える社員満足の向上を目指して、日頃の業務を見直し、その改善活動を事業会社ごとに実施しています。
毎年度末に、グループでの活動発表会を実施しており、各事業会社から選出されたチームが1年間の活動のポイントや成果を発表し、共有しました。



JB Group IT Forum

毎年春に、各分野でリーダーシップを持つ協賛パートナー各社とJB Group IT Forumを開催し、未来につながるIT活用を、セッションや展示を通じて情報を具体的に紹介しています。東京、名古屋、大阪の3カ所で開催し、基調講演にはIT分野のみならず、経済や文化など、幅広い分野で活躍される講師をお招きしています。



基調講演

展示(名古屋会場)



先進技術体験コーナー

情報提供

ホームページ等のWebサイトを通じて、事業内容やグループの活動を総合的に伝えるとともに、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)や動画共有サイトを活用し、タイムリーな情報発信を行っています。
また、各種ソリューションや導入事例など、お客様に役立つ情報は、ホームページでお伝えするとともにJBグループ情報誌でも詳しくご紹介しています。



羽田空港 広告



ホームページ
<https://www.jbcchd.co.jp/>



JBグループ情報誌Link
経営層を主な読者対象として、IT活用のみならず文化・教養に関する情報をご紹介
電子書籍
<http://www.jbgroup.jp/link/>

ソーシャルメディア



Facebook
<https://www.facebook.com/jbcchd>



Twitter
<https://twitter.com/jbcchd>



YouTube
JBグループチャンネル

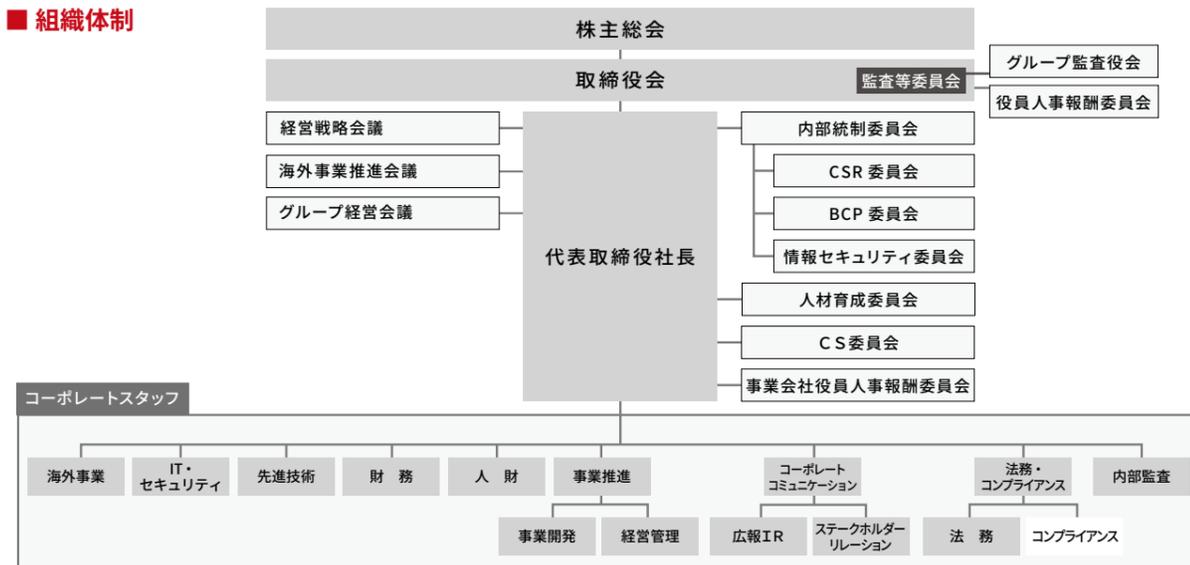
■ 会社概要

社名	JBCCホールディングス株式会社
英文名称	JBCC Holdings Inc.
URL	https://www.jbcchd.co.jp/
設立	1964年4月1日
所在地	〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア15F
資本金	4,713百万円
グループ社員数	2,119名(有期社員152名を含む) 2018年4月1日現在
事業内容	純粋持株会社
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 9889)
会計監査員	PwCあらた有限責任監査法人
拠点数	国内：52拠点(委託事業所12拠点含む) 海外：4拠点(中国・タイ)

■ 役員

代表取締役社長	山田 隆司
代表取締役	東上 征司
	谷口 卓
	三星 義明
	高橋 保時
取締役	吉松 正三
	長谷川 礼司 (社外)
	井戸 潔 (社外)
	赤坂 喜好 (常勤)
取締役監査等委員	今村 昭文 (社外)
	渡辺 善子 (社外)

■ 組織体制



■ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

JBグループの経営方針は、(1) 透明性の高いグループ経営、(2) 企業価値の増大、(3) 日本のIT活用促進に貢献の3つであり、ステークホルダー(お客様、株主、取引先、社員、社会)に対し、常に最高の価値を提供し、企業価値を継続的に向上できるよう努めています。詳細はホームページよりご確認ください。 <https://www.jbcchd.co.jp/ir/management/governance/>

体制

2016年6月に監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行しました。移行により業務執行と監督の分離を進め、ホールディングス体制のもと、より迅速な意思決定の実現を図ります。また、社外取締役が過半数を占める監査等委員会により、取締役会の監督機能を一層強化することで、コーポレートガバナンスの実効性を高め、企業価値の実現を目指します。

コンプライアンス

コンプライアンス経営を徹底し、役員および社員の意識づけを図るために「JBグループ行動基準」を制定しています。この指針をベースとした実践を通じて高い倫理観を共有し、広く社会から信頼される企業体となるよう努めています。

情報ソリューション (国内)

お客様の革新と成長に貢献し続けるIT活用を提案

クラウドサービスやシステムの開発・運用を中心に、お客様のビジネスの成長を支え続けるITを、幅広い業種のお客様に最適な形で提案。実績・経験を活かし、圧倒的なスピードで対応しています。

JBCC株式会社

代表取締役社長：東上 征司
社員数：1031名 / 設立：1988年4月1日
URL：http://www.jbcc.co.jp/



セキュリティ・ITに関する監視・運用・保守サービスを提供

運用センター SMAC と全国のサービス拠点より、セキュリティ・ITに関する監視・運用・保守サービスを提供。3Dプリンター等のサービス領域の拡大と、AIやIoTを活用した新たな運用サービスにも取り組んでいます。

JBサービス株式会社

代表取締役社長：三星 義明
社員数：299名 / 設立：2007年4月2日
URL：https://www.jbsvc.co.jp/



中部地域に密着してお客様の新たな挑戦に貢献

豊富な経験と実績を活かし、ERP(会計・人事・給与)、PLM(ものづくり支援)に加え、AIやRPA、次世代CAD等の最新のITを組み合わせて、新たなソリューション事業を拡大しています。

株式会社シーアイエス

代表取締役社長：福田 弘
社員数：106名 / 設立：1982年2月
URL：http://www.cisjp.com/



九州、中国地区に密着してお客様のIT活用を支援

九州、中国地区のベスト・ソリューションパートナーとして製造業・プラントエンジニアリング業・情報通信業・公共・ヘルスケアのお客様を中心に、幅広い業種・業務に各種ソリューション&サービスを提供しています。

株式会社ソルネット

代表取締役社長：長浜 好数
社員数：156名 / 設立：1967年2月3日
URL：http://www.solnet-dot.com/



基幹システムと最新 Web テクノロジーの融合を支援

SI事業、HRS事業を軸に、日本IBM、NTTデータインフラマートなどの企業と連携し、基幹システムと最新 Web テクノロジーを融合したシステム構築 / 運営を支援しています。

ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社

代表取締役社長：内海 弘之
社員数：77名 / 設立：1993年6月29日
URL：https://www.gbs.co.jp/



人財育成を支援する幅広い研修サービスを提供

デジタルビジネス時代の人財育成を支援する企業として、人財開発研修、営業研修、IT研修、PM研修、IBM製品研修、コンサルティングなど、豊富な研修関連サービスを提供しています。

株式会社アイ・ラーニング

代表取締役社長：宮田 晃
社員数：69名 / 設立：1990年2月1日
URL：http://www.i-learning.jp/



情報ソリューション (海外)

日本と中国の“架け橋”となり、お客様の事業戦略を支援

日本と中国の“架け橋”となることを目指し、現地のビジネスパートナーやJBグループ各社と連携し、中国のIT事情を考慮した先進的かつ高品質なサービスを提供し、お客様の事業戦略を支援します。

佳報(上海) 信息技术有限公司

董事長・総経理：久保 亨
社員数：18名 / 設立：2009年11月30日
URL：https://www.jbcchd.co.jp/jbcn/



タイに進出するお客様のIT活用を支援

タイでのIT総合窓口として、現地のビジネスパートナーやJBグループ各社と連携し、機器調達 / ITシステムの設計 / 構築から運用までワンストップで支援しています。

JBCC (Thailand) Co., Ltd.

代表取締役社長：磯野 章一
社員数：14名 / 設立：2010年7月13日
URL：https://www.jbcchd.co.jp/jbth/



業務システム開発・保守を低価格でご支援

国内のブリッジSEと中国の経験豊富な技術者が、お客様の基幹業務開発を支援します。また、SuperStream テクニカルパートナーとして、SuperStream-NXへの移行サービスも提供しています。

JBパートナーソリューション株式会社

代表取締役社長：市川 国昭
社員数：16名 / 設立：2010年2月22日
URL：http://www.jbps.co.jp/



製品開発製造

オリジナルソリューションを開発・提供

コンピューター開発・製造の経験とノウハウを活かし、自社開発のソフトウェアパッケージ(生産管理、データ活用ツール)、クラウドサービス(データ活用、RPA)、各種ハードウェアを提供しています。

JBアドバンス・テクノロジー株式会社

代表取締役社長：藤岡 英二
社員数：193名 / 設立：1991年10月
URL：http://www.jbat.co.jp/



シェアード・サービス

JBグループ各社のスタッフ業務を推進

人事・総務・経理・財務・情報システム、業務サービスなどのスタッフ業務をJBグループ各社に提供しています。また、JBCCホールディングスのコーポレートスタッフとしてグループ全体の統制管理を支援しています。

C&Cビジネスサービス株式会社

代表取締役社長：後藤 浩
社員数：111名 / 設立：2002年4月1日
URL：http://www.ccbs.co.jp/

